



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月13日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7805 URL <https://printnet.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田原 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 赤江 地衣 (TEL) 050-3734-6495
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の業績 (2022年9月1日～2022年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,382	6.8	210	102.7	210	71.2	135	28.5
2022年8月期第1四半期	2,232	—	103	—	122	—	105	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	27.51	—
2022年8月期第1四半期	21.30	21.28

(注) 決算期変更に伴い、2021年8月期第1四半期 (2020年11月1日から2021年1月31日) と2022年8月期第1四半期 (2021年9月1日から2021年11月30日) は期間が異なるため、2022年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	7,690	3,452	44.8
2022年8月期	7,455	3,380	45.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 3,447百万円 2022年8月期 3,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,476	4.0	230	9.5	231	△0.4	134	△22.5	27.06
通期	9,200	6.4	560	1.5	562	△1.8	326	△19.3	65.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期1Q	5,460,400株	2022年8月期	5,460,400株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	535,848株	2022年8月期	507,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期1Q	4,936,240株	2022年8月期1Q	4,963,352株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(経営成績の状況)

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る影響が減少傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢等の影響を受け、景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社の当第1四半期累計期間における売上高は2,382,956千円となり前年同四半期累計期間比(以下、「前年同期比」)150,894千円の増収、営業利益は210,109千円で前年同期比106,442千円の増益、経常利益は210,468千円で前年同期比87,518千円の増益、四半期純利益は135,791千円で前年同期比30,084千円の増益となりました。

なお、前第2四半期会計期間より、従来のインターネットによる受注を中心とした印刷物及び印刷資材の通信販売を提供する事業(以下「ネット印刷通信販売事業」という。)の単一セグメントから、報告セグメントに含まれる事業セグメントの「ネット印刷通信販売事業」と、報告セグメントに含まれない事業セグメントの「その他」に変更しております。なお、「その他」の区分は、飲食事業及び調剤薬局事業です。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ネット印刷通信販売事業

当第1四半期累計期間において、印刷売上高は2,344,488千円、内、大口得意先への印刷売上高は900,916千円、大口得意先以外の会員の印刷売上高は1,443,571千円となりました。また、新規会員数は3,195社(予想における通期累計新規会員数に対する進捗率27.7%)であり、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの平均売上高は7,252円となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は5,004円となっております。

印刷業界におきましては、コロナ禍における生活様式の変化に伴いWEB会議システム等を利用したオンラインでのコミュニケーションが増加したことや、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料やエネルギー価格の高騰が重なり、厳しい経営環境となっております。しかし、ネット印刷通販業界はコロナ禍以前の5年間において毎年10%程度市場が拡大したと言われており、新型コロナウイルス感染症の影響に関しても、印刷業全体に比べ印刷需要の落ち込みは少なかったと考えております。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、将来に向けて、売上拡大や顧客の囲い込み、生産管理体制に対応できることを目的とした次世代基幹システムの構築を行っております。

また、大口取引先との取引条件の見直しや、従業員の多能工化による人員の適正化及び効率化を行い、営業利益の改善につなげました。なお、当第1四半期会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は2,361,252千円、セグメント利益は270,371千円となっております。

② その他の事業

その他の事業の売上高は21,703千円、セグメント損失は18,592千円です。当該損失の主たる要因は事業譲受に係るアドバイザーフィー等によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ133,400千円増加し、2,753,073千円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が67,674千円増加したこと及びその他が53,649千円増加したこと等によるものです。

当第1四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ101,919千円増加し、4,937,506千円となりました。その主な要因は、土地が61,235千円増加したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ235,319千円増加し、7,690,580千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ298,421千円増加し、2,736,544千円となりました。その主な要因は、短期借入金が400,000千円増加したこと等によるものです。

当第1四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ135,431千円減少し、1,501,308千円となりました。その主な要因は、長期借入金が134,367千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ162,990千円増加し、4,237,852千円

となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ72,329千円増加し、3,452,727千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が86,263千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は44.8%となり、前事業年度末に比べ0.5ポイント減少しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年8月期の第2四半期累計期間の業績予想及び通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年1月13日に公表しました「2023年8月期第2四半期累計期間の業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,002,649	986,989
受取手形及び売掛金	694,850	762,524
商品及び製品	8,226	23,968
仕掛品	19,704	23,008
原材料及び貯蔵品	537,013	545,767
その他	357,878	411,527
貸倒引当金	△649	△712
流動資産合計	2,619,673	2,753,073
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,005,796	1,005,298
機械及び装置(純額)	2,027,818	1,934,885
土地	1,179,268	1,240,504
その他(純額)	171,121	164,762
有形固定資産合計	4,384,005	4,345,451
無形固定資産	168,300	304,027
投資その他の資産		
投資その他の資産	294,803	296,345
貸倒引当金	△11,521	△8,318
投資その他の資産合計	283,281	288,027
固定資産合計	4,835,587	4,937,506
資産合計	7,455,260	7,690,580
負債の部		
流動負債		
買掛金	643,569	683,127
短期借入金	600,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	587,498	537,468
未払法人税等	200,000	71,602
賞与引当金	51,793	29,781
その他	355,261	414,564
流動負債合計	2,438,122	2,736,544
固定負債		
長期借入金	1,264,894	1,130,527
ポイント引当金	32,074	27,311
退職給付引当金	106,003	107,656
役員退職慰労引当金	5,145	5,295
長期未払金	207,325	205,950
その他	21,296	24,566
固定負債合計	1,636,739	1,501,308
負債合計	4,074,861	4,237,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	797,747	797,747
利益剰余金	2,050,535	2,136,799
自己株式	△285,553	△303,060
株主資本合計	3,378,451	3,447,208
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,961	452
評価・換算差額等合計	△1,961	452
新株予約権	3,908	5,066
純資産合計	3,380,398	3,452,727
負債純資産合計	7,455,260	7,690,580

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	2,232,061	2,382,956
売上原価	1,722,065	1,767,122
売上総利益	509,995	615,833
販売費及び一般管理費	406,327	405,723
営業利益	103,667	210,109
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	933	933
受取賃貸料	2,526	2,426
受取補償金	17,294	—
その他	408	500
営業外収益合計	21,171	3,871
営業外費用		
支払利息	1,494	2,551
賃貸費用	395	347
その他	—	614
営業外費用合計	1,889	3,513
経常利益	122,949	210,468
特別利益		
保険解約返戻金	58,507	—
特別利益合計	58,507	—
特別損失		
固定資産除却損	864	0
特別損失合計	864	0
税引前四半期純利益	180,593	210,468
法人税、住民税及び事業税	53,185	63,757
法人税等調整額	21,700	10,918
法人税等合計	74,885	74,676
四半期純利益	105,707	135,791

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

当社は、ネット印刷通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	2,344,488	2,344,488	—	2,344,488	—	2,344,488
資材売上高	15,761	15,761	—	15,761	—	15,761
その他売上高	1,002	1,002	21,703	22,706	—	22,706
顧客との契約から生じる収益	2,361,252	2,361,252	21,703	2,382,956	—	2,382,956
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,361,252	2,361,252	21,703	2,382,956	—	2,382,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,361,252	2,361,252	21,703	2,382,956	—	2,382,956
セグメント利益又は損失(△)	270,371	270,371	△18,592	251,778	△41,668	210,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び調剤薬局事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△41,668千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の報告セグメントは、従来より「ネット印刷通信販売事業」の単一セグメントでありましたが、飲食事業を開始したことにより、前第2四半期会計期間より、報告セグメントの「ネット印刷通信販売事業」と、報告セグメントに含まれない事業セグメントの「その他」に変更することといたしました。